

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ コロナ禍の今の状況だから、近所にリーダーの存在や社会的弱者への支援などに目を向けられがらになつて来たといふことが分かりました。今後は学生が家で親に養ってもらえていてコロナ禍で社会として、経済が厳しい状況にあつたとしても、自分はその厳しさをおおむね受け止めて暮らしています。しかし今後社会に出るようになるには、まだコロナのような問題は自分の身に影響を及ぼすことになるので、より政府について、政策について注視し、自分なりに考えることが重要だと感じました。

○ 私の家では毎日新聞をよんでいるので、私はほとんど目をとめていません。今日、最終には2020の記事を数えていると、その記事には過去の話題はほとんど書かれておらず、驚きました。これからは、できるだけ新聞の様々な記事を読み、自分の知識や視野を広げ、新聞の価値を知る。自分の考えをしっかりと持って行動できるように備えたいと思います。

○ 私たちのような若い世代はインターネットを主に情報源として活用しているけれど、様々なメディアから情報を得て、総合的に情報を取り入れていく、必要があると思つた。

○ 新聞を使って考えることが多く、その中でも三好さんからの質問を考えるのが難しかった。むしろ私たちが選挙権を与えられるか、その時は自分の考えを正しく理解し、実現できる人を選ぶ為には、もっと自分の考えを持つておく必要があると思つた。普段あまり選挙について考える事がなかったから、いい機会だった。

○ 自分は今までスマホが主から新聞は必要ないと思つていました。しかし、新聞はスマホなどの情報と違い、正しいものであり、たとえ興味がない内容であったとしても、世の中で何が起つているのか、かわがるという点で新聞は必要だと思つた。今日はありがとうございました。

○ 世界中がコロナウイルスに見舞われ、それをこの国のリーダーに今後の方針が変わらぬに今、主権者である私たちのあり方、考え方が以前より、より強く問われ始めていることを痛感しました。これらの国の方向性を決めるのは私達主権者であり、主権者である私達はその自覚と責任を持ち、もっと世の中について調べ、自分の意見を強く持ち、社会と関わるべきだと思つた。

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 普段新聞をお読みの方から、ニュースはネットで見ているので、ネット上で自分の興味のあるものしか読むのは、正しくいい情報におとらされたという感じが「あき」と思うので、新聞も読んで方が「いい」と感じました。また、小学生頃に新聞を読んで「読みにくい」というイメージがあって抵抗があったのですが、今日久々じっくりと読んでみると、むしろネットニュースよりも読みやすいくらいでした。これからはもっと積極的に読みたいと思います。また、雇用対策など、自分が興味をもった情報がいいことに、ちゃんと目を向けていこうと思います。

○ 18歳になったとき、社会の1人として現状を知り、選挙権をもちたいとしても責任があることなりました。今日の話がメインだった点、とても役立つ情報が多かったです。また新聞を通い日本だけでなく、世界を知ることの重要性を改めて感じるようになりました。今後、生かしていきたいと思います。

○ 新聞を通い、様々な考え方があり、社会を知ることで、主権者の役割を気づかされました。また幅広い視点で、社会を見る必要性を感じました。選挙権も来年からなので、TECCで学びたいと思っています。

○ 「主権者」と聞くと、選挙の大切さ、などの話かと思いましたが、実際はもっと多岐にわたったとても大事な話でした。今日の講演の中で一番大切だと思ったのは、「社会のできごとに興味をもち、自ら考え判断する」ということだ。選挙についても、各政党の政策について自分で考えることが大切だと思われ、様々な社会問題についても自分で主体的に行動することが大事だと思いました。今後、選挙権をもち、成人していく上で、今日の話をしっかり覚えておきたいと思いました。

○ 日本の政治に文句を言うのは簡単ですが、いざ自分たちが選挙権を持って政治家を選ぶときに、自分たちに求められること、重点を置くべきところを改めて考えるのが難しいのではないかと感じました。インターネットや新聞から多くの情報を得て、世の中を知ることの重要性を学ぶことができました。

○ 17歳まで自分は子どもだと思っていたけれど、次の誕生日にはもう成人なんだという自覚がもてました。自分が生きていく上で、責任を担うことと向き合っていく中で、新聞はどの比較的信頼性が高い情報を集め、選択して読むべきかと思えます。そして、これから社会を担う者として、自分にできることを探し、選挙のあつては、しっかりと調べたいです。

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 多くの学校の授業の一環として、社会問題について自ら考えプレゼンテーションを行うという企画で、「選挙権の拡大」というテーマに挑んでプレゼンテーションをした。私はこれの結果として「選挙権を拡大する方が、新しい選挙に賛成して欲しい」として、投票時間、変更と、場所を増やしてほしい、投票率の上げ方がありたいと、私も三好さんのように、私たちが若い世代が投票したいけれども、なかなかできない。私もこれによって、選挙に興味を持って、今日の講演会に参加し、主権者になった時、選挙に関心する人が増えていってほしい、と思いました。今日はありがとうございました。

○ 来年選挙権が与えられる私たち、選挙だけでなく、社会の動きや世の中の動向、自分の興味のあること、目をつけて、目をつけて生活するべきなのだと分かりました。

私も今興味があるのは、経済のことと、雇用のことと、子育てのことなので、まずそこから、家で読んでいる新聞を読んでみようかなと感じました。ありがとうございました。

○ 普段、新聞を読まないのに、新聞にのっている情報の正確さや読みやすさを知ることができました。これから、主権者として自分たちの生活をつくるリーダーを投票する際に最大限に利用して、こうと思った。新聞を自分が社会に目を向けるきっかけにしようと思った。

○ 社会情勢を知りたいと、判断が正しいと、多くあるし、意見も多岐にわたると思うので、それを社会全体に目を向けていかなければいけないと思いました。私たちの将来にも関わる雇用対策が、今後はぜひ関心を持ってほしいと、若者の意見を反映させるためにも、一人一人が自覚を持ってほしいと感じました。情報社会なので、自分に必要な情報をネットや新聞などで正しく取り入れるべきだと思います。

○ 自分は、フランス革命。起爆をさせたあたりから選挙権を持ってこられたり、また選挙に行こうと思っていたので、今日の講演会はたいにありました。若年層、選挙率、低下は、残念に思いました。あと、政治に関心を持つように、新聞やニュースをよく読むべきだと思っています。

令和2年度 主催者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 私の早生科で18歳に上るのもほぼあと1年あって、まだまだ選挙についての実感が無いけど、まだ17歳だからといって、選挙について矢張り必死にしているという気持ちがある。学校、授業をやった方がいい、選挙の準備を早くして聞けるんじゃないか。あと、新聞とほぼ毎日見ている。最近の若者へ選挙に興味を持ってと言われている。早くして、選挙について早く知識を身につけたら。

○ もうすぐ18歳になり、選挙権をもつので、楽しみな反面、難しそうだなという気持ちがあります。色々な政策を掲げている人々がいて、その中から選ぶのは大変だと思いました。でも、若者の投票率が低いので、私たちがしっかり意志を示すのは大切だと思います。むしろ、新聞やニュースなどを見たり聞いたりして判断する情報を持つ、ということが大切だと思いました。ありがとうございました。

○ 私の講演会で、主催者になるにあたって、もっと社会のことや政治のことを知らなければならぬと思いました。このコロナ禍で政治家たちの頼りないところが浮き彫りになった気がします。政治家に必要な資質は物事をババ、と決めたこととおぼけていたが、たしかにどの通りだと思いました。外国人の入国制限や飲食店などに補償の対応など、選んだことがありました。選挙はニュースが起るたびに、自分でそのことを見極め、社会のことについて少しでも考えてみて、18歳になったら選挙に行こうと思いました。

○ 今日の話を聞いて、まだ投票に行かなくても、政治に興味、関心をもちたいと大切だと思いました。私の家は新聞をとり、テレビというメディアもあり、今までの興味、関心、知識が、テレビのニュースや雑誌、テレビの他人事だと思わぬ、注意深く見てあげようと思いました。また、家族や友人など身近な人と意見を交換し、色々な視点から見ていくようにしていきたいです。

○ 久しぶりに新聞をじっくりと見て、普段は自分からは見ていないような話題のものがある。見出しを見るだけで、その中から自分のために取りたいものがある。コロナ禍で、メディアがいろいろなことを、真実がわからないことを一層感じたり、色々な媒体から情報を得ることが必要だと感じました。将来、自分のために選挙に行き、政治に興味を持つようにしたいです。

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ もうすぐ、選挙権を得るにあたって、将来の自分や家族のために、しっかり社会の問題を自分なりに考える必要があることがわかりました。今まで、政治に対する興味があまりなく、政治は自分には分からなと思っていましたが、コロナウイルスの拡大に伴い、政治がどれほど私達の生活に関わっているかを実感したので、選挙権を得たら積極的に投票したいと思いました。普段新聞を読まないのですが、今回の講演で新聞のよさがわかりましたので、これからはもっと活用しようと思いました。

○ もうすぐ主権者になるという実感がたつたように情報を取捨選択した方がいいかわからないから、新聞をみると政府の政策や意見なども書かれており、見出しと見ることでも内容が分かるので良いなと思いました。ネットだと自分の興味のある話題しか見ることがないから、新聞では様々な内容が見れるので、その点において良いなと思いました。

○ 普段新聞を読む機会がないので新聞から学べるものがたくさんあるんだなと思いました。主権者になるということはとても責任が重いことだと思ってくれば新聞などから正しい情報を入力して選挙に行きたいと思いました。

○ 私は普段新聞を読みません。経済や政治に興味がないので、普通にコロナ対策の状況を金曜日の朝のニュースで済ませています。最初にあらためて8分間で、久しぶりに新聞を全て目を通し、世の中のことを全然知らないと感じさせられました。二つ目の文章を読むときに印刷がきれいなので、社説を読むと、いろいろな意見があり面白いです。これから先、社会に対して一員として、できるだけ触れるようにしたいと思います。

○ 新聞を書いている方からの話を聞いて非常におもしろく感じました。新聞も読み方によって様々な感じ方ができると感じました。

○ 今までの選挙はいまより速いものを感じていましたが、今日の話を聞いて自ら興味・関心を持って知り、主権者として社会に参加していかなければならないと思いました。新聞をどう読むか、特にスマホでニュースを見る程度からして、朝刊に結構興味深いものもたくさんあり、その中で、今後とも積極的に触れていきたいと思えます。コロナ禍で過剰な中で学んだことは、やはり「何もないほどある」と思っています。そのことをいかに活かして、779-コロナ時代を生きていくべきか、と考えるので、今日の話をよく考えたいと思います。また、今日生徒が当てられる中で、私が答えるつもりで、その「あ、たあ、その問題にも何やら答えるほどには考えようと思っています。

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 普段、新聞をほとんど読まないのに、コロナのことが書かれてくる記事を探すと少し難しく、10個しか見つけることができませんでした。私にはあんなにも経歴がいうように、18歳になり、有権者になります。今日の講演を聞いて、自分が政治や社会について知らなければいけないことがたくさんあると感じました。今も、必要だと感じる政策は何か、政治家に求められる資質は何かなど、考えることがないテーマが多かったのが、政治に興味をもつことは、選挙権をしっかりとあたりに、必要だと感じました。これからは、よりニュースを見たいように思いました。

○ 自分から、世の中が起きている問題に目を向け、色々なことを知ることは大切だと思いました。このコロナ期間が私も政府や自治体について学びたい期間であり、経済についても関心をもつようになりました。知事などは、対応が全然違うか、たりすぎるのを見ても、改めて、選挙の大切さを感じ、他人事かほら、思いました。今回の話を聞いて、これから、もっと社会が起きていることに興味を持ち、社会の一員として、色々なことを考えるようにしたいです。今日は貴重なお話ありがとうございました。

○ 新聞をじっくり講演を聞いて、自分の社会について知らなければいけないと実感しました。来年には18歳になり選挙権を持つ年になりますので、新聞やニュースを見る機会を増やして世の中のことも、と知ろうと思いました。

○ 私もある年月が18歳になって、有権者になるので、世の中のことに興味関心を持つようと思いました。新聞は昔は読んでいたが、高校生になってからは、時間がなくて理由に読んでいなかったのを見出しだけでも、今一度読んでみたいと思います。正直最近、ネットニュースばかり見ていたの、色々な分野のことと一度、知れる新聞は魅力的な部分だと思いました。

○ もうすぐ18歳になって、選挙権が得られるようになるという自覚があまりなかったのですが、今回お話を聞いて改めて実感しました。また、私の家では毎朝、新聞をとっているのですが、いつもテレビ欄だけ見て記事を読んでいなかったの、今日の新聞に19種類もの、新型コロナウイルス関連の記事があったことにとて驚きました。選挙権をもつようになって、社会に影響を与えるようになる年齢になってくると、自分で、社会のためにできることを考えて、主体的に行動していか

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 年度明けには受験というのを思い出し盛大にテンションが下がった。
主権者どうのという話は選挙の話だけでは終わらないうちだな、と思った。
コロナの関連記事で自分が見つけられたのは、1月。残りの2月は何だったのか、
正解が知りたい。

○ 今までは何も考えずに生きてきたけれど、もうすぐ18歳で
選挙権も得ることになるので、もう少し世の中を知り、
しかり考えながら生きていかないといけない、と思った。
コロナ対策はどれくらいある程度知っているが、
コロナから学ばないと、最も大切なこととか考えたいから、18歳で
選挙で誰か投票するから考えろって自分の意見もしかりもたないと
いけない、と思った。

○ 来年の選挙に参加できる年齢になったら、今までは全く関心も無かった
世の中のことや政治について、新聞を通して少しは学ばないと行かぬと思った。
またトキビのネットニュースで色々な記事を見ることがあるが、
書かれたことは正しいかどうかわからない、正否判断の必要を感じた。
情報に不安がなくなった。今日、「新聞は自分の意見と違う」と右に書き
あらい、21日と聞いて、その日は早くからたのび（言葉）を
情報元を得ることが、身近に可能になったと分かった。
受験免の強も重い、忙しい時期にはない、見出し一面を
読むことが分かった。裏切り？ も三番用にはない、社会のことに
ついて、21日と11日

○ 新聞には様々な情報があるので、毎日少しでも目を通して、
世の中で起きていることについて知っていきたいなと思った。今の
新聞では「新型コロナウイルス」という言葉が多用されているので、この
言葉が使われなくなるといいなと思った。今は家で
新聞をとっていないので、大学生もしくは社会人になったら新聞をとる
ようにしたいなと思った。今ではスマホやパソコンでも新聞が読める
のでそのおな機能を活用していいなと思った。新聞から得
られる情報はSNSとは違って信用できるものが多いので、SNSの情報
より新聞を読みたいなと思った。

○ 新聞を改めてじっくり読んでみると、無関係だと思っ
ていた出来事どうかが見えないうちで終っていて、興味
深かったです。これから自分たちが主権者になって
いくのに向けて、世の中の様子を出来事に興味・関心を
持ち、正しい知識を身につけていきたいと思います。

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 私は、自分の興味・関心があると思ったことから、少しずつ調べて、知っていくことが大切なのだとこのことを学びました。また、新聞という媒体を今まで積極的に自分から読むことはあまりありませんでしたが、信ぴょう性や内容などに魅力を感じたので活用したいと思いました。今回学んだことを忘れずに今後、活かしていきたいと思えます。

○ 今日のお話を聞いて、もっと自分は世の中で起きていることを知らなければならぬと思いました。コロナ渦の中、様々な考えがあって、どれが正しいのか、正しいとは何か、など考えなければならぬことはたくさんあります。県知事選では、私も投票できるようになるので、投票日より前に各候補者の主張や、コロナへの対策の姿勢などをしっかりと理解し、自分の考えに一番近い政治が行われるような自分の信じる正しい一票を投じたいと思います。今日は、多くのお話をしてくださり、ありがとうございました。

○ 主権者になることは選挙権をもらうということだと思っていたから、他にも社会の色々なことを学び、18歳になると知ることが多いことを学んだ。自分が興味のある分野は何か真剣に考えようと思った。普段、家に新聞はかいてあるが、あまり読んでいないのが残念。これを機に命になるところだけをもっと読んでみようと思った。知た方がいいとばかり、将来をうつるためには知た方がいい選挙に行こうと（看板）改めを感じた。

○ 私にはもうすぐ18歳になって、成人とみなされる18歳年齢と似ています。その為、自覚というものが今回の公演から得られて、気持ちがします。投票も出来るようになるので、政治のことや社会のことについて、もっと目を向けようと思いました。若者が投票に行かないと、政策は高齢者の為のものばかりになり、さらに若者が投票に行かないと、負のループを繰り返すことになるので、投票に行こうと思います。神戸新聞はすごいスピードで読みました。新聞、自分も普段一面とテレビ欄しか見ていなかったのですが、今回はコロナ関連の記事があったのかと驚きました。主権者としての自覚を持つようと思います。

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○主権者教育は選挙に行ってくださいと呼びかけることだと思っていたので、お話を聞いて想像と違う質問ばかりだったので驚きました。まだ18歳にはなっていないし、自分が選挙権を得るということも想像ができてなくて実感も湧かないけれど、投票するときには他の人の意見に流されないように自分の意思を持って投票したいと思いました。投票して声を挙げなければ何も変わらないと思うので、諦めないで声を出し続けていきたいです。

○私は普段新聞を読まないのですが、コロナに関する記事バンバンに載っているのに少し驚きました。私はニュースや新聞をあまり見ず、正直政治の大枠は習ったけれど、ずいぶん無関心でした。でも、選挙権を与えられる18歳をむくせんにして政治にもっと興味を持つためにはニュースを見ようと思いました。

○もうすぐ18歳になり自分も選挙に参加するという実感は、正直今日までほとんどありませんでした。そのため、どんな風に考えて投票すればいいのだろうかと不安に感じました。でも、今日の三好さんのお話を聞いて、自分の頭の中に新しい視点を取り入れることができた気がします。まず始めに質問していた「いま最も必要なコロナ対策は何か？」政治家に求められる資質は何か？は、今の日常生活で考える機会は何となくありませんでしたが、自分が主権者となるからには、責任を持って、日々のニュースなども知っておき、自分の考えをしっかりと持ったことが必要だなと思いました。

○私の家は新聞をとっていないので、ほとんど読むことがありませんでしたが、宝石混合の情報でおふれるインターネット社会において、発信者の責任が問われる新聞に目を通すことは、正しく社会の出来事を理解するためには必要なのだと学びました。また、投票するとき、自分が関心のある争点に焦点をあて考えれば、より多くの人の意見が反映された社会になるのだと知り、私も意志表示のため選挙に行こうと思いました。

○まず、今日渡された新聞に一通り目を通してみたら、新聞ってこんなにたくさん情報が乗ってたっけと思ってびっくりしました。普段ほとんど新聞を読まないで、改めてじっくり見てみると、多くの気づきがありました。また、その中でも様々な種類のメディアに触れて、自分の中の考えをしっかりと作り、それを選挙に行き発表するという決断が大切だと思いました。特に、今のコロナ禍では先を見据える力が非常に大事になってくると思うので、正しい情報を選択し、今後どうしていくべきかを自分たちで常に考えたいと思います。

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 私はこれまで新聞を読んだことはほとんどないけれど、今日はスマホのアプリで記事を読むことができたので、これを機に見出しを自分で読むようにしようと思います。

○ 「主権者」と聞いていたら難しく感じるけど、日頃から社会に興味をもち、自分の意見をもち、それをいかにうまく表現して難しいことではないのかと思う。私は自分の意見はしっかり持っている方だと思うので、思うだけだけでなく、それをもとに行動(投票)したいように思います。

○ 私は今年19歳になるという年齢に達成感がある。主権者という言葉にも初めて触れたので、今回の講義で、私や周りの人が社会のこと真剣に考え、政治に参加する必要があるのだと気づくことができた。
一つは、選挙を経験して私たちが住む世界「リーク」に必要な素質や対応を見直し、適切な人に投票することが可能で、それを行うためには十分なリテラシーが必要だ。
二つは、混乱の中にある世界がどのような方向に向かうかは分からないけれど、だからこそ私たちが責任ある社会をつくりだすために責任があると改めて感じました。

○ どの新聞が言いたいのか分からなかった。「主権者教育」で聞いていたので選挙権のことについて話してもいいのかなと思えば、新聞のメリットは話していいと思っていたので違うかった。新聞にはその長所があると言ったが、SNSの方が情報も最新であり、トレンドもわかる。社会の状況は一度にまとめるので、新聞よりも、SNSの方が、メディアとして勝っているのではないかなと思った。

○ 新聞の見出しの要約力に驚きました。今まではざっと読んで、細かい内容は新聞は見出しを見れば済むからと前年より知りたいたい内容が書かれていたのだと思います。
ネットニュースの方がほとんど主流にはなっていないので、私はやっぱり新聞を読みたいと思います。

○ 今の時代、スマートフォンを用いることで様々な情報を得られるようになっています。しかし、その中から受けとるためには、「メディアリテラシー」を意識して行動することが必要です。その中で、記事の投稿者による偏見が含まれているかや考えのうちに、常に不確かな情報しか得られていないか状況の中にあるように思っていました。しかし、新聞には記者の名前が必ず載るというように、確かな裏付けがあることを今回の講習で知り、これから政治に関心していくうえで確かなものを手にいれることが大切だと知りました。

令和2年度 主権者教育講演会 講師：神戸新聞社 三好正文氏

今日の三好さんのお話を聞いて、「学んだこと」「気づいたこと」を書いてください。

○ 1歳に付き、主権者になるという事は、自分の一票が何かを変えることができるが、同時に何を知らなくては、逆の変化も起さるという責任も生じる、大切だと感じた。それ、高齢者だけでなく若年層である私達も意見を持つことが大事だと思った。

○ 今日の講演会のお話を聞いて、社会に関心を持って自ら主体的に行動できる主権者には求められていると感じた。また自分が関心をもつ争点は何かにあらず、積極的に政治家もその争点に関わる情報の収集を行うべきと感じた。

○ 自分で考えたことは大切だと思うので、むしろ答えを求めず、自分の思考のプロセスを通り決断していくこと。選挙権を得るという実感が湧かずに、有権者としての1票だけけれども、その1票の重みを感じて投票しようと思う。

○ 新聞のネット関連記事を探し出す際に、又々新聞と一緒に見ることが、改めて新聞を読み進める面白さを感じた。知らなかったことを知ることが、社会を見つめる上で必要だと感じた。

○ 若者の投票率が低いから政治家が高齢者向けの政策を行っているという話と話を聞いた。正直しこれは良くも悪くもないけれど、最低限自分が関心のある事柄についてのことは言いたいと思った。

○ 今回、三好さんのお話を聞いて、選挙にはしっかりと気持と十分な情報を持っていくべきだと感じました。やはり、日本の未来のためにどう人材を決めるにあたって、日本人が気持だけでは参加してはいけないはずと学びました。
また、新聞と入しっぱなしに読みましたが、少し前の新聞の内容とは一風変わって、ほとんどの記事にコロナがかわっていることがわかりました。自分の想像以上に大きな影響をおぼえていることが知られたのでよかったです。

○ 友達に今日の話を聞いたか聞くと、「世の中に興味を持って言っても俺は自分のことしか考えられない」と言われた。しかし、自分のために行動すればおぼろげに世の中のことを知る必要があると感じるはずだと思ふ。例えば、お金の飲みたいと思えば、世の中で何が最も求められているか考える必要があるし、それに応じたためには色々なことを知っている必要が必ずある。だから結局は世の中のことを理解することは自分のためになることにつながると思う。